



テーマ：人口減少と多様な社会を生き抜く理数・国際教育について

社会情勢・背景

～激動の時代の到来～

- 科学技術の急速な進展
- 人口減少・少子高齢化
- グローバル化
- 人材不足の顕在化
- 外国人の増加・社会の多様化

国内外から「選ばれる茨城」づくり
魅力ある教育、より良い教育環境

施策の方向性

- 自ら考え、豊かな語学力や異文化・価値観を乗り越えるためのコミュニケーション能力を備えた、競争力のある人材の育成
- 外国人材が活躍し、共生・協働できる教育環境の整備

理数教育の充実

グローバル人材の育成

外国人児童の日本語教育

など



これまでの取組 理数教育の充実

いばらきサイエンスキッズ育成

小・中学校

R6科学の甲子園ジュニア
全国大会で、茨城県代表
チームが**全国優勝**！

- 教員の指導力を高め、理科授業の質を向上
- 探究的な活動を充実し、科学に対する興味・関心を高め、理科の学力を向上
 - 小学校における理科専科教員等による授業公開
 - 科学研究作品展の開催
 - 科学の甲子園ジュニア県大会の実施



未来の科学者育成

高校

- 最先端科学技術の現場にふれる活動など、科学に対する興味・関心を高め、未来の科学者を志向する人材を育成
 - 大学研究室での高校生の科学体験学習
 - スーパーサイエンスハイスクール（SSH）において
理数系に重点を置いたカリキュラム開発、先進的な理数教育
（県立SSH指定校：日立一、水戸二、緑岡、竜ヶ崎一、並木中等）
 - 理科・数学・情報分野においてチームで競う「科学の甲子園茨城県大会」
を開催（全国大会出場チームの選考会）



大学の研究室で
実験している様子



大学の電波望遠鏡
を見学している様子



これまでの取組

国際教育 ～実践的な英語力向上、グローバル人材の育成～

次世代グローバルリーダー育成

中学・高校

- 海外の人々とコミュニケーションをとりながら、課題を解決していくための思考力や探究力、リーダーシップ等を培い、国際社会で活躍できる人財を育成
 - オンラインによるグループ英語レッスン
 - 日本語と英語によるワークショップ式の集合研修会
 - 模擬国連、留学生との交流などを行う集中研修

・英語で教養を競うワールド・スカラズ・カップで、4大会連続世界決勝大会に出場、メダル獲得
 ・修了生がハーバード大学、ロンドンインペリアル大学等に進学



解決したい国際的な課題について英語でプレゼン

プログラミング・エキスパート育成

中学・高校

- オンラインを活用し、全国トップレベルのプログラミング能力を持つ生徒を育成
- 裾野を広げるため、多くの生徒がプログラミングに興味を持つような学習サービスを提供
 - エキスパート・トップ育成として、専門家による個別指導や対面研修を提供
(競技プログラミング、ゲーム・アプリ開発等)
 - アソシエイト支援として、プログラミングの基本やゲームプログラミング等の学習サービスを提供



エキスパート・トップ対面研修会の様子



これまでの取組

国際教育 ～外国人児童生徒の日本語教育～



外国人児童生徒支援

小・中学校

- 日本語が話せなくても安心して学ぶことができる教育環境の整備のため、外国人児童生徒を公立小中学校にスムーズに受け入れる体制を強化
- 常総市で在日外国人の学校（ブラジル人学校）との交流を推進

【常総市モデル】

- 日本人教員及び母語が話せる支援員をペアで配置
（水海道小、豊岡小、水海道中、水海道西中）
- ブラジル人学校との交流
（日本語訪問指導、児童生徒間の定期的な交流）



日本語学習の様子

高校

- 県立高校7校（重点校2校、支援校5校）において外国人生徒等への支援を充実

2022年度～ 重点校2校（石下紫峰高校、結城第一高校）

2024年度～ 支援校5校（坂東清風、結城第二、筑波、荃崎、江戸崎総合）

- 日本語教育支援のため専門人材派遣による日本語教室を実施
- 学校生活支援のため、NPOの支援コーディネーターを配置し、通訳・翻訳支援、相談支援等を実施
- 習熟度別学習のための非常勤講師を配置〔重点校のみ〕



日本語指導員による日本語教室